

# 第18回おいしい水づくり推進懇話会

日時 平成26年11月11日(火)  
午後2時～  
会場 千葉県水道局水質センター  
2階会議室

## 次 第

- 1 開会
- 2 局長挨拶
- 3 座長挨拶
- 4 議題
  - (1) おいしい水づくり計画の各施策の取組状況
    - ① 安全・安心・おいしい水づくりキャンペーン
    - ② お客様と協働した取組み
  - (2) 残留塩素低減化試験 中間報告
  - (3) カルキ臭に関する利き水
- 5 懇談
- 6 その他
- 7 閉会

## 第18回おいしい水づくり推進懇話会議事録（要旨）

### 【おいしい水づくり計画の取組状況】

#### ○ミネラルウォーターの飲み比べ

（構成員） 水道水のミネラルウォーターの飲み比べで、水道水を10点満点で評価してもらっているが、ミネラルウォーターも同様に評価してもらってはどうか。点数化すると水道水とミネラルウォーターの差はそれほど無いかもれない。

（事務局） 他社製品について点数をつけることは好ましく無いと判断し、今回は見送った。

（構成員） 点数化について、ミネラルウォーターは、種類が沢山あるので、ある製品には勝つが、ある製品には負けるでは意味が無いと思う。

#### ○インターネットモニターアンケート

（構成員） 満足度の結果が高くなっているが、モニターは水道に関心のある方がやっていると思うので、外部の調査機関等に依頼して2,000件ぐらいのアンケートをとってみてはどうか。

（構成員） おいしさの結果について、浄水場からの距離等、地域による傾向は見られるのか。

（事務局） そこまで細かい解析は、今のところ行っていない。

（構成員） 残留塩素低減化に関する意見の結果で、「安全性に不安があるので塩素をあまり減らさないで欲しい」と「塩素を減らす必要は無い」を足すと過半数を超えているのが衝撃的であり、そのような段階に来たというのが感慨深かった。

#### ○おいしい水づくり計画のPR

（構成員） 水道水は、本当においしくなっている。そのことをどうやったらアピールできるか。

（構成員） 小学校の夏休みの自由研究のテーマに水道を取り上げてもらってはどうか。

（構成員） 水道週間の標語で良いものがあると思うので、おいしい水づくり計画のポスターのフレーズに採用すれば、いつの表彰作である等認知されやすいと思う。

（事務局） 色々な考え方がありますので、より良い方法について今後検討していきます。

（構成員） 千葉市では、夏休みに入ってすぐの時期に自由研究の相談会を開催していた。また、9月半ばには自由研究の作品展があり見に行ったが、水道水に関するものは無かったと思う。

（構成員） 最近ワークショップが流行しており、無料で色々なところで講座を開催している。子供が4年生だが（水道の学習をしているが）、保護者の間で水道の事は全く話題に上がらない。ワークショップで子供が勉強している間に、保護者にもPRできれば良いと思う。

### 【残留塩素低減化試験 中間報告】

- (構成員) 定期排水を実施している箇所では残留塩素が低くなっているが、どのような対応策があるのか。
- (事務局) 定期排水の頻度を増やすということが考えられる。
- (構成員) 今回の試験結果から、給水場の塩素注入率を下げ、残留塩素の低減化を行うのか。
- (事務局) あくまでも安全性を確保できるという条件で、個別の状況を勘案しながら進めていく。
- (構成員) 大口の需要家は受水槽を持っていて、施設内で滞留すると末端の給水栓で残留塩素が確保できないこともある。系統毎に塩素を注入(塩素多点注入)が出来れば一番良いが、設備投資に係る費用とのバランスをとるのが大変だと思う。
- (構成員) 残留塩素を低減化するために貯水槽を考慮したりシミュレーションをしたりと、ものすごい労力がかかっていると感じた。この話を聞けば一般の方の安心感やおいしさの向上に繋がるのに、知る機会が無いのが残念だ。

### 【カルキ臭に関する利き水】

- (構成員) 一番最初に嗅いだ検体の印象が強くなるので、人によって嗅ぐ順番を変えると安定した結果が得られると思う。水の官能検査では、のどが渴いている時にやると、みんなおいしく感じてしまう。一番目が一番良い結果で、後になればそうでもなくなるという順位効果がある。
- (構成員) トリクロラミンが0.02mg/Lで皆さんが臭いを感じられたので、やはり無い方が良いとの流れになると思うが、目標値を決める際には水質検査機器の定量下限値も考える必要がある。
- (水道局) 現在、トリクロラミンの基準や測定方法に関する法律が整備されていないので、目標値については、今後、検査の精度や体制を勘案して検討したい。
- (構成員) 国内の水道事業者でトリクロラミンの調査を始めているところがあるので、情報を整理した方が良い。